

卷之三

第五節 嘉慶百二十一年蘇常鎮之作戰

第一 第百二十六師團の編制

(一) 鮑國編成の大要

奇隊希編 編制細部 畫風考略

第三十六回

步兵第三营十七七联队 本邦、三太、西条、步兵炮

步兵第三百七十八騎隊

步兵第三百七十七聯隊

郭子房來古之解隊 本却三天、解隊

第百三十六回 工其院

第一回 二十三年賈雨村扶正太學

卷一百一十一

第百三十六師團	總參謀長	佐柳 輓	昭和二年四月三日	第百三十六師團	總參謀長	佐柳 輓
第百三十六師團	參謀長	大佐	"	第百三十六師團	參謀長	大佐
"	參謀	中佐	"	"	參謀	中佐
"	副官	少佐	"	第百三十六師團	參謀	少佐
"	參謀	小森彦三郎	"	"	參謀	小森彦三郎
"	參謀	本田外廉	"	"	參謀	本田外廉
"	參謀	吉井貞臣	"	"	參謀	吉井貞臣
"	參謀	軍医部長	主少佐	"	參謀	軍医部長
"	參謀	軍医部長	主少佐	"	參謀	軍医部長
"	參謀	獸医部長	獸医部長	"	參謀	獸医部長
"	參謀	鳥田文恭	"	"	參謀	鳥田文恭

歩兵第二百七十七聯隊長	大佐	山本義雄	27期
歩兵第三百七八聯隊長	少佐	山中肇	29期
歩兵第三百七十九聯隊長	少佐	菊池永雄	26期
歩兵第三百三十聯隊長	少佐	木庭一之	21期
第百三十六師團參謀長	高柳光附	少佐	25期
第百三十六師團副參謀長	大尉	近藤寛	特志
第百三十六師團通信隊長	中尉	長岡義信	特志
第百三十六師團輸運隊長	少佐	山森正祐	少佐
第百三十六師團勤務隊長	少尉	平川庫次	少校
第百三十六師團病馬麻長	駕大尉	小岩井	54期初當

1667

卷三 日蘇開戦車前に於ける蘇軍の動向

(一) 伊江山附近南行列車の状況

昭和二年四五、六月間 伊江山附近南行列車の搭載軍需品中、戰車及自走車の數は約八千輛、火砲及鉄舟等多數目撃せり

(二) 課税の活動積極化

牛欄河—哈達河ルト、梨樹鎮—鶴寧ルト等師固正

而に於ても多數の鮮偽人を使用し實收せず情敵の
葛半山勢のアリ^謀當時撫寧側近衛守所某の言に依れば
是軍課税には多額の金を取へ少くも三ヶ月位湯洲に
侵入をめざすと殊に六、七月間には哈達河、鶴寧附

軍

近に謀叛のキヌトを放り往々移動の状況を譯知
セガカリニと賤穂高アリレモ在住傷鮮人の保護在
アシヒタヒニカ摘發は困難ナリ

(三)半藏河兩方瓊山附近に於キ越境華城の宿泊

時和二年七月廿日頃瓊山附近國境^{正橋}100里至30里越境レ

正面^主50キロ^主一回間連續毎日^主30名以上之兵力を
以て銃械を窓^主施レ其態度挑戦的ナリシテ其
國境警備隊は閏東守の搜査に勤り積極的行動を
採リテ事ラジ敵前向我軍等に終始セラ

高麗正面の敵陣内之兵ヤリ移動相當活潑化
セヨを因聲ナリ

(四) 八月六日敵歩兵約100名越境我力堅南軍を攻撃する事件

官軍本日午後于画毛回境警備隊(席林南方知事)に
長毛匪第百三營歸屬の義鑑等謀逆本ゆえり一對岸を襲撃

中自動車三輛12機ソ連斜坡約20名はウスリーチ

岸船上より眼鏡¹²我に數百隊を觀察す間

左敵歩兵百名は歩入り而を渡りし敵砲陣地東

方一千步附近現出遂限機槍隊向散開前

集約八百步¹²敵之滅¹²樓臺¹²掩護¹²我全

員陣地に擇¹²戰斗已半滿¹²者光天¹²射擊¹²を用

始¹²が敵は六百步迄近接¹²其後空¹²而退¹²也

又射擊¹²少¹²于¹²草¹²も¹²に伏¹²ひ¹²考¹²其附近上

草原にレニ草原に伏野を全生目現し得
 日級に至り後退の様様ありと報に移るや
 相田秀祥を東安女ん派遣狀使を調取せめしに七日
 に多敵影と徳安との現地の報告に於安堵
 最近若国境に於けた敵の動向等本事件は近々
 敵は何事かの企圖を有す事と推測すも今ま
 に乍聞其の事象から之の一般的推測あり

〔三〕開戦前蘇聯の動向に對する日本軍の判断並に处置

(一) 第三軍情報主任の判断

五六月間

米軍、内地に陸上陣地呼應し、蘇聯協同侵入を企圖する事

其の時機は九月以降ある

七月下旬

最近頃に蘇聯の動向が陥落化する鎌ヶ日蘇聯近付

天子のや

(二) 第百二十六師團情報主任の判断

七月下旬以後

國境に於ける蘇聯の動向は陥落化せず現況は

1. 復後一自興北一七日間 番號の迅速な發行	2. 菓園地帶内に遠近人員、兵器彈薬等の送附	3. 庫人家族立候特許 附 牡丹江附近に集結	4. 無易般化貨物取扱 附 牡丹江附近	5. 军司令部 芽東省より松河江移動	6. 開戰を被應しヨリ司令部 嘉興の宣佈	7. 防禦備習と七月下旬實施し特に同縣城郊人勿通 ニ禁し有特殊真に招手
------------------------	------------------------	------------------------	---------------------	--------------------	----------------------	--

(三) 右利新に甚大第百二十六師團の位置

1. 七月節日長は國境警備隊を巡視し開闢、哨戒の不善、空襲に對應する為警備隊第十二團に開闢、研究と訓練の實施を要求す。
2. 築城の迅速化に遂行に因し各隊を督勵す。
3. 自興モの築城を利用し敵機械化を破滅化せんす。兵工廠、大隊長に現地指導を八月一日より五日間実施す。
4. 編制未完了の部隊の迅速化完了と築城地盤内に今夏の相殺並に兵器、軍事、軍事の搬送を要求す。
促進

1675

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

最斗経過の大要 開戦軍事の師団行動と附記

(昭和二十年八月八日夜半 越境後敵飛行機の爆撃に
うち眠りを醒さず間もなく國境警備隊 在塹 動勢を敵
の攻撃反応より報に接し 師団情報課は直ち軍事部
に報告、同上 師団長にも報告す)

当時師団長及幕僚は第五年同三部 機関の為機
河口

(我が国境警備隊は敵より離れて居た所より敵軍の襲撃
は敵土方に敵は國境を越えて陣地を取扱て直ちに警備
係隊は西平陽及八面道警備隊共九月十日酉日江之

其陣地の大半を占めセラミ敵は十日夕其の先鋒部隊

也江之鶴審一八而過下城子の錦江に進モリ

(三)敵は十日午ノ柱牛牛圍の主力を以て移接陣地を名^レ
走江^{シテ}通道自興屯陣地を攻草十二日午江櫛村
該線を突破

(四)軍は十日敵株牛牛の強^クど牛方移接^{シテ}牡丹^{タチバナ}を
突進し^{シテ}も効^クセ^ル也 126D 及 135D 主力を以て速^{シテ}に推^{シテ}牛地

区江^{シテ}突進^{シテ}巨命^{シテ}牛 両師團は十日夜行動を開始

行軍至^{シテ}鐵道^{シテ}轍^{シテ}以^テ後^{シテ}松板十日午^{シテ}土日午^{シテ}

主^{シテ}間^{シテ}鐵道^{シテ}附近^{シテ}に到着^{シテ}直ちに 126D は四進^{シテ}之

附近^{シテ}35D は梓林附近^{シテ}陣地在^{シテ}移接^{シテ}方^{シテ}之

連中の敵機甲部隊、機銃車を破碎して企圖す

(三) 敵は十三日磨刀石附近の我が肉攻部隊を突破し
十四日及十五日の兩日四道峯及櫛林南方阵地の我軍

に攻撃を加へ我軍は火砲、肉攻、第一師初陽の奮斗
によりよく該阵地に於て抗戦し敵は大なる損害を
蒙へたるも敵は優勢なる戦車と火砲を以て攻撃を
反復せしむれ十五日我軍は我が防地の大半、敵の有に
歸す

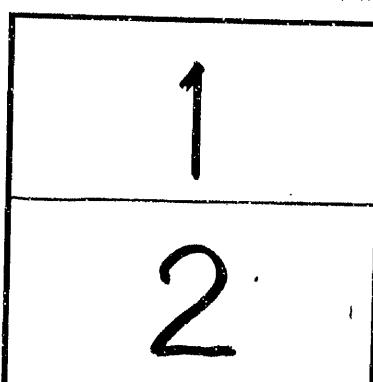
(六) 軍は十五日夜暗を利用し先づ牡丹江左岸に移進爾後
引續き敵軍本陣能傑寧北薩摩守牡丹江市一安端屯
一橋遂に子道を極道橋子江傍河後回を第十九

3月
瑞應

御園は十六日午前板取村伊市門邊口後退、十七日
安城老陣逃亡休止、十七日至江板取權道房子
御着、同地に設隔也（陳他以就之）
軍の停戦に關す人命令を發給也

1679

分割撮影ターゲット

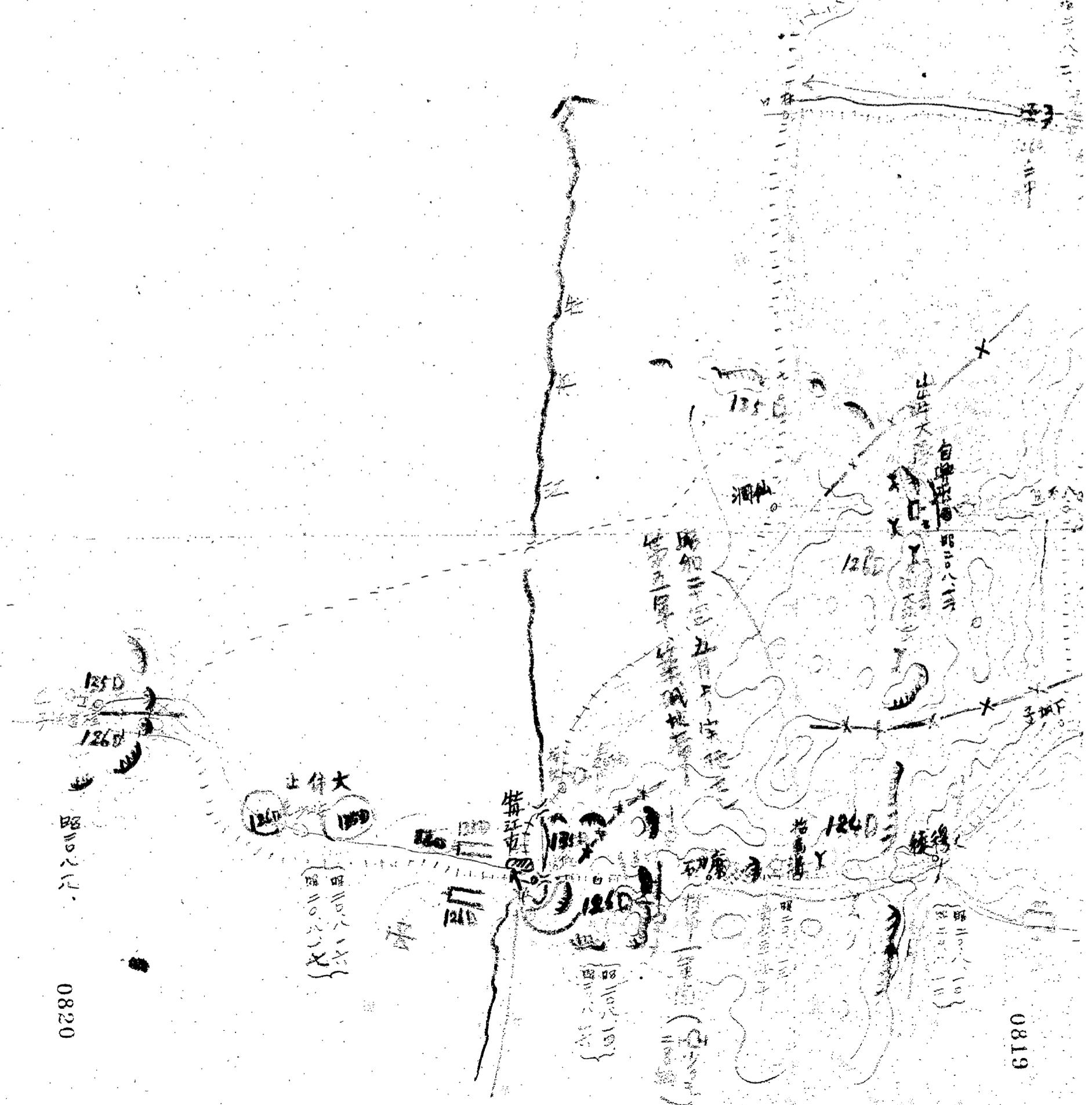
分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	第126師団戦斗経過大要
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

第百二十六師國戰斗社

自昭天二年八月九日

至昭和二年八月九日止

N
↑
↓
1
—
503.



第 平陽地區國境警備隊の戰斗（要目某ニ參照）

(一) 開戰時 敵備大隊長の知得也了、狀況並に处置

八月八日夜は月明り小雨銀星降り、併び濃霧の氣場
ちふくし 実地 在平陽縣下光と左に南方に爆音を
聞き間もなく越境セテ敵機を認も

2. 國境觀察班附近に數聲の銃聲を聞く、尚若觀察班
の電詔は全く不通なり

3. 九日二時瓊山觀察班便敵手、敵の攻撃を受けて全滅、
さうヒテ軍令によき報告を受く

同時後半嶺西方陣地に連続セテ銃聲起る

4. 大隊長は事態監視等と算じ平陽師團情報所に報告

可と左山南山炭専志毛警衛隊と連絡せしに未だ敵襲あし只内省共軍後視察班は各所敵の攻撃を受けてゐるが此と教きし來了

一に於て大隊長は今日蘇閔最前線セシテ之と期新し各警備隊に隊の指揮を以て防禦計畫に基く戰斗を準備すべく命令

(二) 三陽國境警備隊防禦計畫の大要

一方針

ほゞべ長く現在線に於て敵を拒止す已むを待てハ渠は先づ平陽に向後警戒兵舎を経て師団主力陣地に後退す

三、指揮手要領

- 1 警備隊は高麗屯半蘇州一南山一小原線の線に正面を縮小しないべく長く敵を拒止す。土方為二ノ班、高麗屯の兵力は一部を西高麗に其他は半蘇州陣地に集結す。
 - 2 小原宮は平陽方面に着し進路を以て該警備隊は陣地を死守す。
 - 3 半蘇州方高麗軍及平陽高麗軍は速に一部隊を派遣し之を破壊し敵駆逐車の突進を防止す。
 - 4 平陽附近後退後の行動は狀況に依り定む。
- (三) 平陽地区周辺警備隊の操斗

当時大隊長は未だ事務の陳述敵の攻撃を要り
其の側面を背後を包囲せし時十日未だば
全く独立に隔てて明かりを以て本隊長九日夜半

平陽附近に後退すに迷し夜暗乗し間道に修了
平陽城に後退せし夜向南産帰し日九時同地に
到着アリ

午後敵の一部小鹿台營側陣地を突破し平陽城
西側に進出しあたそ北、木岸水北一部を以て半截城
方向の敵を拒止せしめ主力を以て平陽城西方の敵を攻撃
至るに達し、二、三日三時頃より平陽城郊舊に於て激
烈な戦闘を惹起し敵は衆を擧げ我軍寡兵より
果敢なる戰斗を継続し被弾後亂闘にて十六時頃
大隊長傷兵一将校大半戦死不可御存也多人と對力
を失ひたる在りテ、萬三中隊長伊藤少尉附

の兵に身を命じ敵縁を空破絶テ
本隊半は参加也兵士約八百五十名中戰死傷者
五十名有
敵の損害は兵力損耗以上有しも明瞭無手

第八八面通地區國境警備隊の戰鬪

(要目 補足)

(一) 戰鬪 前づ状況

1. 当警備隊は正面向國境一帯は密林多く且日蘇兩軍共に
敵備の手薄なる上に相當國境より離隔もあり從て
國境紛争問題をも敵謀者の出入多々有り
2. 文字峰・梨木山・青狐峯・廟ト梨樹鎮の線は昭和十九年
度夏季築築城を實施し梨木山に二大隊・青狐峯・廟
口一大隊・稍堅固な了野戰陣地程度の工事を行ひ引
續キ昭和二十年度に於ても常強計画立案し四月うち実
施先とどき五年軍一千五百人(金合川)の内地抽串により中止と
至り從て守備兵力化し正面過度且敵の隠蔽近接

容易至地域堅を以て防塁作成の遂行困難至る事無なり
 (二)八面通地区國境警備隊防塁計画、不要

方針

糸井山、青孤峯廟八面通間の警備地域に於てはよりて
 長く敵を拒止す

指揮要領

1. 十文字峰、糸井山、青孤峯廟の線を固定す敵の渗透
 潛入を止むのは^{前進堵撃}遂撃^黙により之が機械化を期す
2. 敵機甲部隊の為撤退的に道路の破壊を行ふ
3. 八面通東側為地盤は最後の抵抗色減半島等の焼却を

實施

(三) 戦斗経過の大要

八月九日未明より敵飛行機の進撃西進せし状況を日韓
また大隊長は直ちに各部備隊に戰斗準備を命じ
而國軍は隣接乾徳隊と連絡せしに敵は全正面攻撃す
左實施する直級を蒙り命令事態大至りと知れ

第1保険隊隊長と連絡を密にし極力敵情の収集に勤め
其は在八角通右側保険を却闇し戰斗配置に就かしめ
道路橋梁の陸絶破壊を実施す

九日十時頃梨山副隊長より秋皮溝は本未明敵一不隊の
攻撃を受ケ空襲無死りヒテ報レ梅子十三時既未ア敵
の有カ有レ御審料内を西進中止すもの如キ未瓦梨山

青孤考廟に敵を見ず

右拂曉犁山は敵の砲弾を受り少くも二、三方隊の敵は攻撃
前進中止を半備隊は自下陣地によく撤退中止となり敵は移す
引領せ青孤考廟も敵の攻撃を受りし難に移る所も
而省其の寛詒不通とある

八時迄十文字峰警備隊も敵下駄箱白砂至三千箱
は被月台方同より前進ニ至リ自下我力警備隊も攻撃
中止となり難に移る所も寛詒不通とある

大隊は第十一旅部隊乗馬傳令を取當情報の蒐
集に赴く

三十文字峰警備隊の軍事

翌備防正面に現出し駆車は走つ城力兵合を射撃す
 十時以三合火炎を生し附近森林に延焼す之ヲ有志で
 敵Tの前進を阻止せしも自動車搭載之歩兵森林
 内を潛入攻撃し本駆車射撃と相俟て死傷被出
 も翌備防兵川上歩兵駆車との戦斗不利益を察知
 すとや森林地帯を利用し後退するも八面圓に走る道蹤を阻
 絶破壊し敵Tの前進を阻しつゝ退却八面に向ひ
 後退す

チ利木山翌備防の戦斗

十四時以先之敵の砲撃直受少刀槍手敵陣地の開闢
 を遂遂侵入正午頃より右の混戦となり陣地守備隊

士と強強に抵抗し屢々 敵を撃退す。少く優勢な敵は
反覆攻撃を實施し 陣地守備の威力と甚じて凶悪 無食
也。尔同日午後は中隊長江下隊と戦死し 初矢山陥地。山本
敵手に歸る。

青流峯廟壘向原の戰斗

英聯隊は正午頃より攻撃を發せしも 守備よく奮斗し
地形又敵の近傍 密島五十九よりしてより十日夕方に陣地南
端の一角にて敵の右銃せり所となりしも 他に健在 壓山
阵地敵手に帰るや 敵は兵力右側背に纏ひ侵入し奉
中隊長は同様八面通に後退するに當し 中隊を率め給し
勝てり 偵察を間違ひ像ア八面通東方高地に拂脱前

到着 大阪水々橋掛下
八面通陣の戦事

廿六日午時、敵戰車十數輛、八面通に侵入。我機銃
大隊芦中隊の主力は全員犠命を擇て因^{追撃}擣攻。
轟き宣紙不敵戦車の大部分に損害を喫へし威力不足
分(三乃)七挺の爆薬(?)の為一時行動を停止せり。テナリ
土日早朝より敵歩兵遂に八面通東側及南側に現れて
先づ砲弾を開始し、續々火炎の拡散を以て我力陣地に
迫迫^{我部隊}す。よく奮斗されども裝備の劣悪は甚^甚多く、
損害を増加する。廿七日正午頃、八面通北山敵手に爆

(四) 八面通地盤の爆破の概要

0835

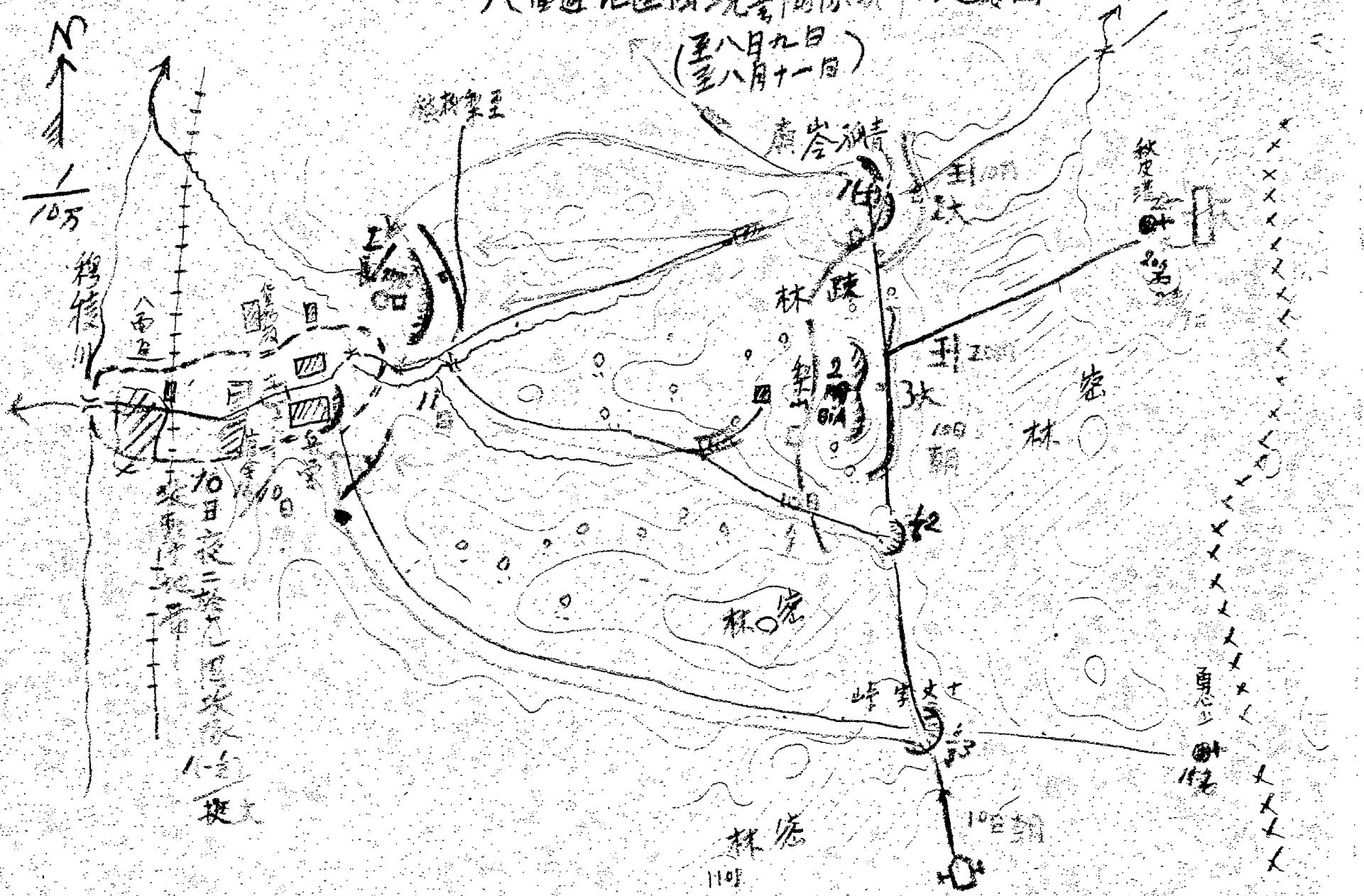
警備隊	600	中戰死約百名
被傷者	100	一 死傷者 數百名
敵兵突入了我官は大も威力 有士明瞭互争		敵死數十人 判斷
戰車	破壞二	
一時行動也不能なれし敵	七台	

1696

八面通地區國境警備隊隊伍總要圖

1697

(至八月九日
至八月十一日)



第七 自興屯附近佈置部隊の戦斗

（續）

(一) 八月十九日夜師團主力は松井地正に東進を命ぜられ自興屯陣地殊置部隊(長山岸中尉 ^{工兵第135T/135TA} / 135T/135TA)を七八面通方向の敵を一時撃止し師團主力及 135T の撤退を容易ならしむ
(二) 敵擋甲部隊は土日八面通を西進同日午後自興屯附近到着我方速射砲の射撃も内攻却隊の攻撃も大々的風景を登輝し得ず敵軍は我陣地に射撃を加へ同様を察
破仙洞方面前進セ

當時先遣却隊は山頂にて尋う敵が先より擋止せ事例
十三日十時復敵先遣三四大砲不測は自興屯附近現出
正午頃より高地に於し猛烈なる集弾砲火を以て制圧シ

敵が当は遂に北方に迂回す大隊はA高地の兵力を抽出し
してC高地に配置し第十九度陣地用敵の迂回を備え
敵は遂に砲火をCに移す 北面の配備ドアリ
正面樓す第軍以敵砲火の掩護を離さず右側斜面を
左側敵が当と火戦を交ふ優勢を敵は遂に 左側背面に退
血糞用日刻以之縫にB及C高地を敵の占領す所と
有

夜間大隊は殊勵の兵を擧めC高地に向ひ反撃を加へ
一時空襲成則をも間もなく敵が左側面に退却す
大隊は十三日拂曉迄に更に南方不林林内陣地を占領す
敵は一部を以て第軍を監視立場を以て仙洞方面に前進

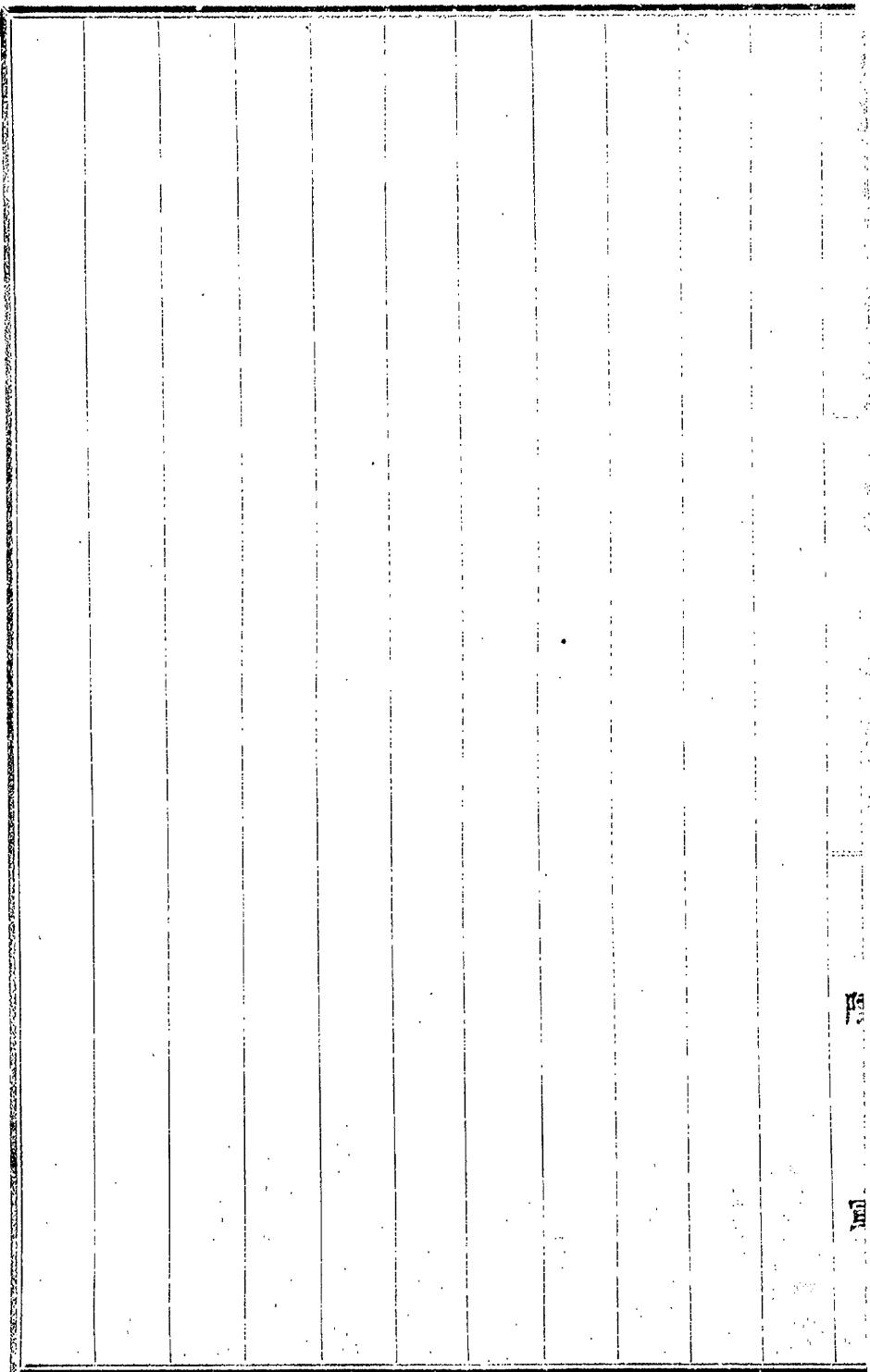
を開始す

(其身カニニ滅少シテ
失フ)

茲以迄不原長は所有^{スル}兵力を率^ハ西南方^ニ後退師団
主力^ヲ合^{ハシ}ト^サリ^テ^行動^出金牛山地内^ニ行進^シたる^テ軍^事屋^落し
十六日テ^シ拉^ハ東北高地^ニ進^ムセし^テ敵^兵在^リ牡丹江^付
に^シ止^ムニ^シ走^ムを^シテ^シ東^南方面^ニ前進^シ途中^停留^ミ
知^リ三十日東寧城^{附近}にて^シ此^ノ軍^事解^散也^シ

(三) 本軍^斗ニ於^ク我^ノ損害

秋年^ノ兵力約^{六五}萬名^ノ内^ニ戰死約^四千人^ノ
逃^{ハシ}絕^四大隊^六隊^二所^三破^ル軍^也矣^シ

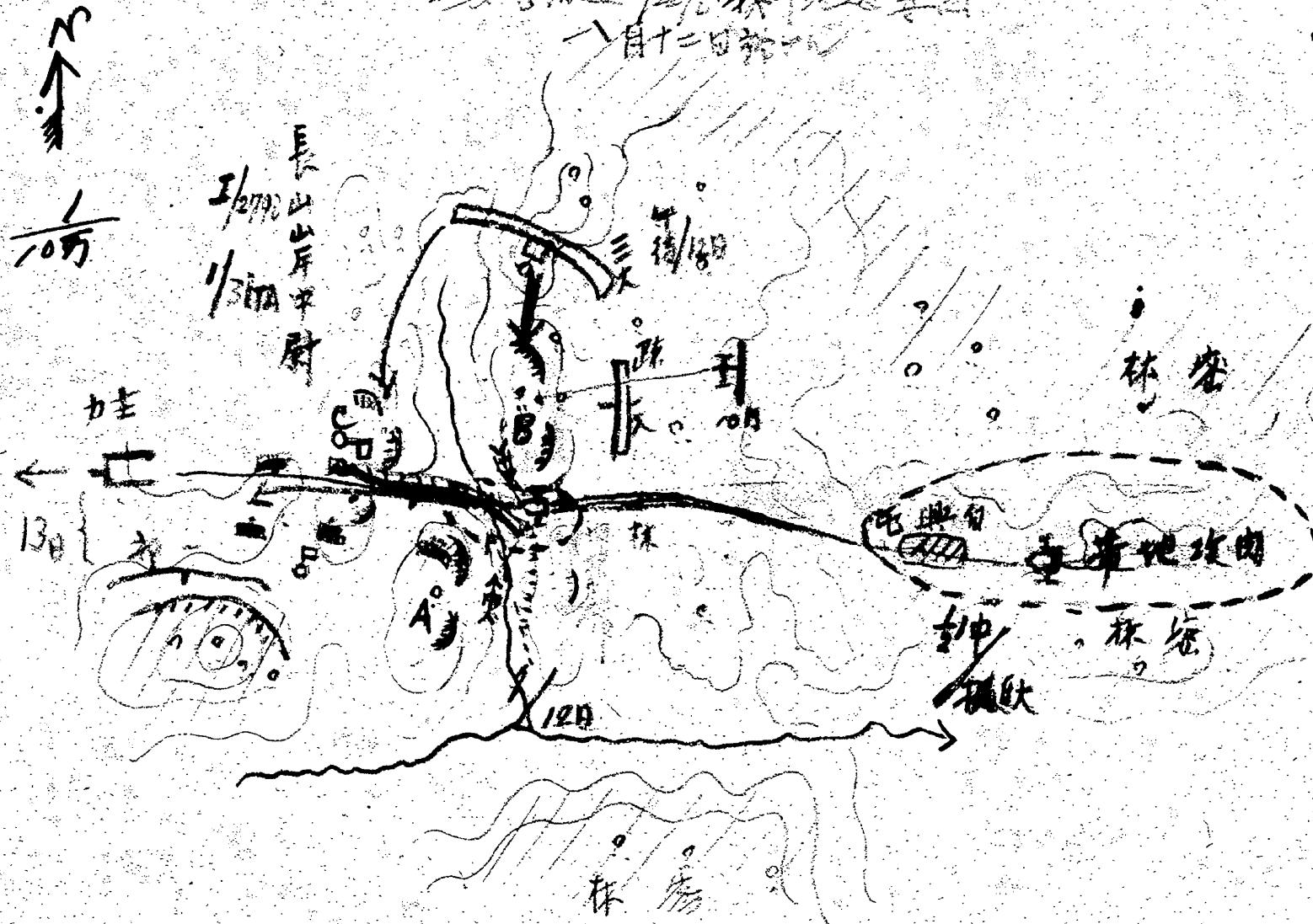


1701

1702

要因考四

自能子陽正月廿九日歸之晚過重慶
一月十二日



第八 牡丹江東方愛河附近の戰斗

(1) 師団主力自鰐屯より転進部署者

敵機甲軍の主力移設、磨刀石-牡丹江道に指向せり、
や軍は126Dの主力及135Dの一部を廿日十一時左右陣上に転進と

命す

師団は軍命令甚と同夜左記の如く附近を部署す。

(1) 師団轉進要領

左縱隊本隊(日行軍序列) 10日20時前鰐屯本營仙洞一様移

長279c
長279c
長279c
長279c

279c (-2)
226A (-4)
31TA (-1)
126T 由兵勤 126P
23/ 115P

道左拉河に

左縱隊後衛

279c (-2)
注仙浦より鐵道に上り11日午後

走

見

0842

1704

(二) 優河附近陣地占領要領

師團長は土日正午頃、撫柯第五軍司令部に到着する。軍司令官より左記要旨の軍命令を受く。

第五軍命令 撫柯
八月十一日十三時

一、敵機甲軍は自下穆、穆附近に於て124Dと激戦中す。
二、軍は牡丹江以東に於て敵機甲軍の攻撃を破碎せんとする。

三、第十六師團は英基屯附近より貨物廠高地、四道峯を経て標高1300高地に亘り陣地を占領。敵機甲軍の攻撃を破碎すべし。

SA
平
1250
撫柯大隊
23/1928
、駆逐車輛を配属す。

四 其他署

右軍人命会日基キ一師團の命令左記の如く

第百二十六師團命令

八月十七日十七時

總指揮官

一 敵機甲軍は自下移後附近に於て1240と爆撃中止
 二 師團は英基モ附也うち實物廠高地、四道峯を経て
 程高3列高地江豆リ陣地を占領し移縫方向より前進
 中の敵機甲部隊の攻撃を破碎せんとす

三 278(1) 278(2) 278(3) 278(4) 278(5) 278(6) 278(7) 278(8) 278(9) 278(10) 278(11) 278(12) 278(13) 278(14) 278(15) 278(16) 278(17) 278(18) 278(19) 278(20) 278(21) 278(22) 278(23) 278(24) 278(25) 278(26) 278(27) 278(28) 278(29) 278(30) 278(31) 278(32) 278(33) 278(34) 278(35) 278(36) 278(37) 278(38) 278(39) 278(40) 278(41) 278(42) 278(43) 278(44) 278(45) 278(46) 278(47) 278(48) 278(49) 278(50) 278(51) 278(52) 278(53) 278(54) 278(55) 278(56) 278(57) 278(58) 278(59) 278(60) 278(61) 278(62) 278(63) 278(64) 278(65) 278(66) 278(67) 278(68) 278(69) 278(70) 278(71) 278(72) 278(73) 278(74) 278(75) 278(76) 278(77) 278(78) 278(79) 278(80) 278(81) 278(82) 278(83) 278(84) 278(85) 278(86) 278(87) 278(88) 278(89) 278(90) 278(91) 278(92) 278(93) 278(94) 278(95) 278(96) 278(97) 278(98) 278(99) 278(100) 278(101) 278(102) 278(103) 278(104) 278(105) 278(106) 278(107) 278(108) 278(109) 278(110) 278(111) 278(112) 278(113) 278(114) 278(115) 278(116) 278(117) 278(118) 278(119) 278(120) 278(121) 278(122) 278(123) 278(124) 278(125) 278(126) 278(127) 278(128) 278(129) 278(130) 278(131) 278(132) 278(133) 278(134) 278(135) 278(136) 278(137) 278(138) 278(139) 278(140) 278(141) 278(142) 278(143) 278(144) 278(145) 278(146) 278(147) 278(148) 278(149) 278(150) 278(151) 278(152) 278(153) 278(154) 278(155) 278(156) 278(157) 278(158) 278(159) 278(160) 278(161) 278(162) 278(163) 278(164) 278(165) 278(166) 278(167) 278(168) 278(169) 278(170) 278(171) 278(172) 278(173) 278(174) 278(175) 278(176) 278(177) 278(178) 278(179) 278(180) 278(181) 278(182) 278(183) 278(184) 278(185) 278(186) 278(187) 278(188) 278(189) 278(190) 278(191) 278(192) 278(193) 278(194) 278(195) 278(196) 278(197) 278(198) 278(199) 278(200) 278(201) 278(202) 278(203) 278(204) 278(205) 278(206) 278(207) 278(208) 278(209) 278(210) 278(211) 278(212) 278(213) 278(214) 278(215) 278(216) 278(217) 278(218) 278(219) 278(220) 278(221) 278(222) 278(223) 278(224) 278(225) 278(226) 278(227) 278(228) 278(229) 278(230) 278(231) 278(232) 278(233) 278(234) 278(235) 278(236) 278(237) 278(238) 278(239) 278(240) 278(241) 278(242) 278(243) 278(244) 278(245) 278(246) 278(247) 278(248) 278(249) 278(250) 278(251) 278(252) 278(253) 278(254) 278(255) 278(256) 278(257) 278(258) 278(259) 278(260) 278(261) 278(262) 278(263) 278(264) 278(265) 278(266) 278(267) 278(268) 278(269) 278(270) 278(271) 278(272) 278(273) 278(274) 278(275) 278(276) 278(277) 278(278) 278(279) 278(280) 278(281) 278(282) 278(283) 278(284) 278(285) 278(286) 278(287) 278(288) 278(289) 278(290) 278(291) 278(292) 278(293) 278(294) 278(295) 278(296) 278(297) 278(298) 278(299) 278(300) 278(301) 278(302) 278(303) 278(304) 278(305) 278(306) 278(307) 278(308) 278(309) 278(310) 278(311) 278(312) 278(313) 278(314) 278(315) 278(316) 278(317) 278(318) 278(319) 278(320) 278(321) 278(322) 278(323) 278(324) 278(325) 278(326) 278(327) 278(328) 278(329) 278(330) 278(331) 278(332) 278(333) 278(334) 278(335) 278(336) 278(337) 278(338) 278(339) 278(340) 278(341) 278(342) 278(343) 278(344) 278(345) 278(346) 278(347) 278(348) 278(349) 278(350) 278(351) 278(352) 278(353) 278(354) 278(355) 278(356) 278(357) 278(358) 278(359) 278(360) 278(361) 278(362) 278(363) 278(364) 278(365) 278(366) 278(367) 278(368) 278(369) 278(370) 278(371) 278(372) 278(373) 278(374) 278(375) 278(376) 278(377) 278(378) 278(379) 278(380) 278(381) 278(382) 278(383) 278(384) 278(385) 278(386) 278(387) 278(388) 278(389) 278(390) 278(391) 278(392) 278(393) 278(394) 278(395) 278(396) 278(397) 278(398) 278(399) 278(400) 278(401) 278(402) 278(403) 278(404) 278(405) 278(406) 278(407) 278(408) 278(409) 278(410) 278(411) 278(412) 278(413) 278(414) 278(415) 278(416) 278(417) 278(418) 278(419) 278(420) 278(421) 278(422) 278(423) 278(424) 278(425) 278(426) 278(427) 278(428) 278(429) 278(430) 278(431) 278(432) 278(433) 278(434) 278(435) 278(436) 278(437) 278(438) 278(439) 278(440) 278(441) 278(442) 278(443) 278(444) 278(445) 278(446) 278(447) 278(448) 278(449) 278(450) 278(451) 278(452) 278(453) 278(454) 278(455) 278(456) 278(457) 278(458) 278(459) 278(460) 278(461) 278(462) 278(463) 278(464) 278(465) 278(466) 278(467) 278(468) 278(469) 278(470) 278(471) 278(472) 278(473) 278(474) 278(475) 278(476) 278(477) 278(478) 278(479) 278(480) 278(481) 278(482) 278(483) 278(484) 278(485) 278(486) 278(487) 278(488) 278(489) 278(490) 278(491) 278(492) 278(493) 278(494) 278(495) 278(496) 278(497) 278(498) 278(499) 278(500) 278(501) 278(502) 278(503) 278(504) 278(505) 278(506) 278(507) 278(508) 278(509) 278(510) 278(511) 278(512) 278(513) 278(514) 278(515) 278(516) 278(517) 278(518) 278(519) 278(520) 278(521) 278(522) 278(523) 278(524) 278(525) 278(526) 278(527) 278(528) 278(529) 278(530) 278(531) 278(532) 278(533) 278(534) 278(535) 278(536) 278(537) 278(538) 278(539) 278(540) 278(541) 278(542) 278(543) 278(544) 278(545) 278(546) 278(547) 278(548) 278(549) 278(550) 278(551) 278(552) 278(553) 278(554) 278(555) 278(556) 278(557) 278(558) 278(559) 278(560) 278(561) 278(562) 278(563) 278(564) 278(565) 278(566) 278(567) 278(568) 278(569) 278(570) 278(571) 278(572) 278(573) 278(574) 278(575) 278(576) 278(577) 278(578) 278(579) 278(580) 278(581) 278(582) 278(583) 278(584) 278(585) 278(586) 278(587) 278(588) 278(589) 278(590) 278(591) 278(592) 278(593) 278(594) 278(595) 278(596) 278(597) 278(598) 278(599) 278(600) 278(601) 278(602) 278(603) 278(604) 278(605) 278(606) 278(607) 278(608) 278(609) 278(610) 278(611) 278(612) 278(613) 278(614) 278(615) 278(616) 278(617) 278(618) 278(619) 278(620) 278(621) 278(622) 278(623) 278(624) 278(625) 278(626) 278(627) 278(628) 278(629) 278(630) 278(631) 278(632) 278(633) 278(634) 278(635) 278(636) 278(637) 278(638) 278(639) 278(640) 278(641) 278(642) 278(643) 278(644) 278(645) 278(646) 278(647) 278(648) 278(649) 278(650) 278(651) 278(652) 278(653) 278(654) 278(655) 278(656) 278(657) 278(658) 278(659) 278(660) 278(661) 278(662) 278(663) 278(664) 278(665) 278(666) 278(667) 278(668) 278(669) 278(670) 278(671) 278(672) 278(673) 278(674) 278(675) 278(676) 278(677) 278(678) 278(679) 278(680) 278(681) 278(682) 278(683) 278(684) 278(685) 278(686) 278(687) 278(688) 278(689) 278(690) 278(691) 278(692) 278(693) 278(694) 278(695) 278(696) 278(697) 278(698) 278(699) 278(700) 278(701) 278(702) 278(703) 278(704) 278(705) 278(706) 278(707) 278(708) 278(709) 278(710) 278(711) 278(712) 278(713) 278(714) 278(715) 278(716) 278(717) 278(718) 278(719) 278(720) 278(721) 278(722) 278(723) 278(724) 278(725) 278(726) 278(727) 278(728) 278(729) 278(730) 278(731) 278(732) 278(733) 278(734) 278(735) 278(736) 278(737) 278(738) 278(739) 278(740) 278(741) 278(742) 278(743) 278(744) 278(745) 278(746) 278(747) 278(748) 278(749) 278(750) 278(751) 278(752) 278(753) 278(754) 278(755) 278(756) 278(757) 278(758) 278(759) 278(760) 278(761) 278(762) 278(763) 278(764) 278(765) 278(766) 278(767) 278(768) 278(769) 278(770) 278(771) 278(772) 278(773) 278(774) 278(775) 278(776) 278(777) 278(778) 278(779) 278(780) 278(781) 278(782) 278(783) 278(784) 278(785) 278(786) 278(787) 278(788) 278(789) 278(790) 278(791) 278(792) 278(793) 278(794) 278(795) 278(796) 278(797) 278(798) 278(799) 278(800) 278(801) 278(802) 278(803) 278(804) 278(805) 278(806) 278(807) 278(808) 278(809) 278(810) 278(811) 278(812) 278(813) 278(814) 278(815) 278(816) 278(817) 278(818) 278(819) 278(820) 278(821) 278(822) 278(823) 278(824) 278(825) 278(826) 278(827) 278(828) 278(829) 278(830) 278(831) 278(832) 278(833) 278(834) 278(835) 278(836) 278(837) 278(838) 278(839) 278(840) 278(841) 278(842) 278(843) 278(844) 278(845) 278(846) 278(847) 278(848) 278(849) 278(850) 278(851) 278(852) 278(853) 278(854) 278(855) 278(856) 278(857) 278(858) 278(859) 278(860) 278(861) 278(862) 278(863) 278(864) 278(865) 278(866) 278(867) 278(868) 278(869) 278(870) 278(871) 278(872) 278(873) 278(874) 278(875) 278(876) 278(877) 278(878) 278(879) 278(880) 278(881) 278(882) 278(883) 278(884) 278(885) 278(886) 278(887) 278(888) 278(889) 278(890) 278(891) 278(892) 278(893) 278(894) 278(895) 278(896) 278(897) 278(898) 278(899) 278(900) 278(901) 278(902) 278(903) 278(904) 278(905) 278(906) 278(907) 278(908) 278(909) 278(910) 278(911) 278(912) 278(913) 278(914) 278(915) 278(916) 278(917) 278(918) 278(919) 278(920) 278(921) 278(922) 278(923) 278(924) 278(925) 278(926) 278(927) 278(928) 278(929) 278(930) 278(931) 278(932) 278(933) 278(934) 278(935) 278(936) 278(937) 278(938) 278(939) 278(940) 278(941) 278(942) 278(943) 278(944) 278(945) 278(946) 278(947) 278(948) 278(949) 278(950) 278(951) 278(952) 278(953) 278(954) 278(955) 278(956) 278(957) 278(958) 278(959) 278(960) 278(961) 278(962) 278(963) 278(964) 278(965) 278(966) 278(967) 278(968) 278(969) 278(970) 278(971) 278(972) 278(973) 278(974) 278(975) 278(976) 278(977) 278(978) 278(979) 278(980) 278(981) 278(982) 278(983) 278(984) 278(985) 278(986) 278(987) 278(988) 278(989) 278(990) 278(991) 278(992) 278(993) 278(994) 278(995) 278(996) 278(997) 278(998) 278(999) 278(1000)

貨物廠南方高地に車庫面と陣地を占領す

同高地東側斜面脚下駿車陣等を設備す

五
1790 (I) は左地区其能都馬と主に主力を以て四道之高地

右一部を以て橋高川高地を左領す

特此四道之令附近本道上に配置せし師団工兵隊と參

12 備力す

六
轍斗地域の境界左の如し

右 地区間

中 軍幕廠南一英里至高地東面所水支渠西側

左 地区間

旧駿車隊舍南端 仁貨物廠北端

貨物廠東側水渠之端

七
砲兵隊 (12 及 SA 中屬) は主力を以て旧駿車隊附近

一部を以て標高371高地西側山地に陣地を占領し
全火力を四道峠高地東側特に本道に列め地区に
各一部を中地区正面至る標高371高地前面に指南す
此火力を準備す

八、エヌ隊(126P 22/15P)は四道峠部後江位置し四道峠西側
水路(谷)を四道峠東方二所の川流に至り間断封
戦車障壁を設備すると共に肉薄攻撃の方の
蛸壺を準備すべし

九、挺進大隊(長135D 挺進隊長126及135D 挺進大隊)は四道峠西側
小路(谷)より板橋東端に亘る間断封の方めなよく
多くの蛸壺を準備すべし